年間授業計画

第四商業 高等学校 （3学年用）

教科：　地歴公民科　　**科目　B選　世界史探究**　　単位数：　3　単位

◆対象学年組：第3 学年　　組～　　組

◆使用教科書（　『世界史探求』第一学習社　）

◆教科　地歴公民科　の目標：

【知 識 及 び 技 能】：社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに，諸資料から，社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

思考力、判断力、表現力等】：国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して，現実社会に見られる複雑な課題を把握し，説明するとともに，身に付けた判断基準を根拠に構想するカや，構想したことの妥当性や効果，実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して，合意形成や社会参画に向かうカを養う。

学びに向かう力、人間性等】：よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に，より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

◆科目　B選　世界史探究　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
○世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解している。 ○諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。	○世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。 ○考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりすることができる。	○世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，見通しを持って学習に取り組もうとしている。 ○国家及び社会の形成者として，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	農耕と牧畜のはじまりにより人類の生活様式が大きくかわったことや，地球上のさまざまな自然環境に応じて文明が誕生したことについて理解する。	農業と気候	○農耕と牧畜のはじまりによって人類の生活様式が大きくかわったことについて，諸資料から読み取り，多面的・多角的に考察し，表現する。	○			5
	メソポタミア文明，エジプト文明，エーゲ文明がそれぞれの自然環境とどのように関係しておこったのか，それらの文明がのちの社会にどのような影響を与えたのかについて理解する。	古代オリエントとエーゲ海地域	メソポタミア文明，エジプト文明，エーゲ文明がのちの社会にどのような影響を与えたのかについて，諸資料から読み取り，多面的・多角的に考察し，表現する。	○	○	○	8
	定期考査 なし	・指導事項・教材等		○	○		1
	アッシリアとアケメネス朝ペルシアの統治の共通点と相違点を理解する。	古代オリエントの統一	アッシリア帝国とアケメネス朝ペルシアがどのような共通点と相違点をも	○	○	○	8
	アテネの民主政と現代の民主政にはどのようなちがいがあるのかについて理解する。 ローマ帝国と西アジアが，南アジアや東アジアとどのようにつながっていたのかについて理解する。	古代ギリシアとヘレニズム 世界ローマ帝国と地中海世界 地中海世界とアジア	アテネの民主政と現代の民主政にはどのようなちがいがあるのかについて，諸資料から読み取り，多面的・多角的に考察し，表現する。 ○ローマ帝国の政治，社会，宗教の変化やキリスト教の広まりが，その後のヨーロッパや西アジアにどのような影響を与えたのかについて，諸資料から読み取り，多面的・多角的に考察し，表現する。 ○古代ギリシアとローマ世界の共通点と相違点について，自らの学習を	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
2学期	イスラームとはどのような特徴をもった宗教なのか，どのように広まったのかについて，ほかの宗教と比較するなどして理解する。	イスラーム世界の成立	イスラームとはどのような特徴をもった宗教なのか，どのように広まったのかについて，諸資料から読み取り，多面的・多角的に考察し，表現する。	○	○	○	20
	東西ヨーロッパはそれぞれどのような変容をとげたのか，どのように影響を及ぼしあい，どのような相違点と共通点をもっていたのかについて，理解する 西ヨーロッパの封建社会はどのような背景で成立し，東ヨーロッパの民族・国家・宗教はどのように結びついたのかについて理解する。	中世初期の東西ヨーロッパ 中世ヨーロッパ社会の展開	東西ヨーロッパはそれぞれどのような変容をとげたのか，どのように影響を及ぼしあい，どのような相違点と共通点をもっていたのかについて，諸資料から読み取り，多面的・多角的に考察し，表現する。 ○キリスト教とイスラームを基盤とした国家の特徴について，自らの学習を振り返り，学びを深める。 西ヨーロッパの封建社会はどのような背景で成立し，東ヨーロッパの民族・国家・宗教はどのように結びついたのかについて，多面的・多角的	○	○	○	10
3学期	近世の主権国家はどのような特徴をもっていのか，また国家の形成と宗教にはどのようなかかわりがあったのかについて理解する。	主権国家群の形成と宗教改革	○近世の主権国家はどのような特徴をもっていのか，また国家の形成と宗教にはどのようなかかわりがあったのかについて，多面的・多角的に考察し，表現する。	○	○	○	4
	「世界の工場」とよばれたイギリスの急速な工業化が，世界の結びつき方をどのようにかえたのかについて理解する。	産業資本主義の世界への波及と欧米社会	「世界の工場」とよばれたイギリスの急速な工業化が，世界の結びつき方	○	○	○	4
							合計 74